

天神川水系水質汚濁防止連絡協議会幹事会を開催

(調査設計第1課・河川管理課)

倉吉河川国道事務所で管理する天神川、小鴨川などの河川の水質は全国有数のきれいさ※を誇っており、住民の身近にある癒しと憩いの場になっています。また、この豊かな自然の恵みは漁業や農業にとって必要不可欠なものです。この良好な水質を守っていくため、県や市町、警察、消防などで天神川水系水質汚濁防止連絡協議会を構成し、万が一の水質事故に備えています。今年度においても、平成23年11月7日に当協議会の基幹メンバーによる幹事会を開催しました。



幹事会の様子

※1 平成22年度BOD全国一級河川ランキングで165河川中、天神川、小鴨川とも実質第4位

幹事会構成員

鳥取県

危機管理局消防防災課、生活環境部水・大気循環課、農林水産部農地・水保全課、水産課、中部総合事務所環境循環推進課、維持管理課

倉吉警察署

中部ふるさと広域連合消防局

倉吉市

産業環境部環境課、農林課、建設部建設課、下水道課、水道局工務課

湯梨浜町

町民課、建設水道課

三朝町

町民課、建設水道課

北栄町

生活環境課、産業振興課

(財)鳥取県天神川流域下水道公社

国土交通省倉吉河川国道事務所

今回の幹事会のテーマの一つに河川内に油類を満載した車両が転落し、大量の油類が流出するなどして発生する重大事故に対応するため、その初動体制確立に不可欠な情報伝達について議論しました。

水質事故は、休日、夜間を問わず、様々な場所で発生する恐れがあるため、下流地域への被害、例えば農作地に汚染水が流れ込まないよう用水樋門を閉める、飲料水への被害防止のため取水制限を行うなど迅速かつ的確な対応をとる必要があります。

会議では被害を未然に防止するためには日頃からの訓練が有効であり、まずは迅速に各機関に情報が伝わるか利水者を含めた全機関での伝達訓練を行うことを決定しました。また、今後は実際に現地に流出防止のためのオイルフェンスの設置などの対策も含め様々な角度からの訓練の実施を検討することを決議し会議を終了しました。